

2015 年度日本雪工学会賞 受賞記念講演会

開催要領

- 日時： 2016 年 9 月 30 日（金） 16：30～18：00
- 場所： 名古屋大学 野依 2 階ホール

- プログラム

16:30～16:40 進行・開会挨拶

日本雪工学会 事業委員会 委員長 諸橋和行
(公益社団法人中越防災安全推進機構)

【2015 年度 技術賞講演】

16:40～17:10 冬期道路マネジメントシステム

国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所

寒地道路研究グループ 寒地交通チーム 総括主任研究員 高橋尚人 氏

受賞理由：寒地土木研究所寒地交通チームは、冬期道路マネジメントの一環である冬期路面管理サービスに主眼を置き、冬期路面の定量的評価に基づいたより効果的・効率的な冬期路面管理手法を構築・提案している。その中で「冬期道路マネジメントシステム」は、道路管理者・除雪業者向けにすでに活用されている。また、新たに客観的・統一的な冬期路面管理を推進させる冬期路面改善シミュレータ WIRIS(Winter Road Surface Improvement Simulator)を開発しており、今後の活用が期待されている。以上より、雪国に住む人々に有益な技術開発を実施していることから、日本雪工学会技術賞に値する成果である。

【2015 年度 学術奨励賞講演】

17:15～17:45 雪かき道場が参加者に与える印象のテキストマイニング分析

鹿嶋功貴 氏

※欠席につき、指導教官の上村靖司先生より講演

受賞理由：鹿嶋功貴氏は、平成 18 年豪雪を契機として開設された越後雪かき道場における具体的効果を探る目的で、道場参加者を対象としたアンケート調査の自由記述についてテキストマイニング分析の一手法である共起ネットワーク分析を行い、雪かき道場の効果として、雪かきの楽しさ、地域の人との交流および雪国を知ることの 3 つの付加価値があることを明らかにし、さらに道場プログラムの今後の展開に関する方向性を示した。これらの研究成果は、豪雪地域における安心安全な地域づくりに対して有用なものであり雪工学の発展に大きく寄与することが期待できることから、日本雪工学会学術奨励賞に値する成果である。

17:50～18:00 質疑応答

18:00 閉会

※受賞理由は、日本雪工学会誌 32 巻 2 号(2016 年 4 月)に掲載済